この教材見本は、実際の１カ月分の教材よりも回数・ページ数が少ないダイジェスト版です。

※実際の教材の１カ月あたりの学習量は、１回30分×８回です。この教材見本は１カ月分の一部を抜粋して掲載しています。

下記の黒字が今回の掲載回です。

※テキストスタイル、進学クラス・特進クラス共通の教材見本です。

小説：人物像

1 要点学習　要点

2 応用学習　読解演習１

3 応用学習　記述トレーニング

4 応用学習　読解演習２

5 応用学習　知識トレーニング

6 応用学習　速読トレーニング

7 添削問題　添削問題１

8 添削問題　添削問題２

30分

要点

小説：人物像　要点

今回の単元を学習すると……

小説の登場人物の発言や行動をもとに、人物像をとらえる方法について学習することで、**登場人物がどのような性格なのか読み取れる**ようになります。

性格・人物像の読み取り方

(1) **性格を直接表現した部分から読み取る**

(2) **登場人物の発言や行動から読み取る**

【1】性格を直接表現した部分から読み取る

人物像をとらえるには、まず、人の性格を表す言葉をできるだけたくさん知っておくことが必要です。たとえば、次のようなものがあります。

優しい・短気・穏(おだ)やか・感情的・お人よし・勝ち気・気が弱い・物静か・おおらか・行動的・控(ひか)え・恥ずかしがり屋・努力家・思いやりがある・プライドが高い・冷静・実直・軽率(けいそつ)　など

このような言葉のほか、「いざというとき頼りになる」「人前でも動じない」など、**その人物の行動をもとにした短い表現**で性格を表すこともできます。

【2】登場人物の発言や行動から読み取る

右にあげたような直接的な言葉が文中にない場合は、次のようなところから読み取ります。

●登場人物の行動から読み取る

例文で確認！

上京してから私はときどき実家に贈り物をした。**荷物を送って数日もすると父から手紙が届いた。**手紙は**いつも万年筆の手書きで、丁寧な文面でお礼の言葉**が書かれてあった。

父の性格について考えましょう。贈り物をもらうたび、丁寧なお礼の手紙を送るということから、「**律儀**(りちぎ)（＝誠実で道理を重んじるさま）・**実直な性格**」と読み取ることができますね。

●登場人物の発言や心の中の言葉から読み取る

例文で確認！

「試合に出られなかったこと、悔しかったんじゃない？」私は妹に気になっていたことを聞いてみた。

「うん。でも、**他の人のプレーをじっくり見られて勉強になった。**それに、**試合に出なくてもやることはいっぱいあるんだよ。けがをしてみないと気づけないことってあるんだね**」

発言部分から妹の性格を読み取ります。けがのため試合には出場できなかったものの、そのような状況の中で自分のできることに取り組んでいます。このような点から、「**前向きで物事を積極的にとらえる性格**」と読み取ることができますね。

●ストーリーの中での人物像のとらえ方

実際の小説の出題では、ある程度の長さのある文章の中で人物像を問われます。その場合はまず、年齢や置かれている立場といった、登場人物の設定についておさえます。そして、ストーリーを追いながらその中で起こった出来事についてとらえ、出来事に対して登場人物がどのように反応したかを読み取ります。

（例文は、いずれもZ会編集部書き下ろし）

ポイント

人物像を読み取るために

(1) 年齢や置かれている立場など、登場人物の設定をとらえる。
←
(2) ストーリーの中で起こった出来事をとらえる。
←
(3) 出来事に対して登場人物がどのように反応したかを読み取る。

次のページで、「例題」に取り組みましょう。

小説：人物像　例題

例題

次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

（著作権の都合により、問題文を掲載しておりません）

（著作権の都合により、問題文を掲載しておりません）

問一　杉野久実子の人物像が読み取れる部分に――を引きなさい。

問二　杉野久実子の人物像として、最も適切なものを選びなさい。

ア　地元を思う気持ちが強く、地域貢献のためなら自分の家族を犠牲にしてもかまわないと考える利他的な人物。

イ　好奇心があり新しい技術を積極的に取り入れる気概があるが、反面、一つの仕事を続ける根気がない人物。

ウ　わが子を思う気持ちが強く、自分がやるべき仕事と思ったら困難な中でも精力的に行動する前向きな人物。

エ　人のために働くことが好きで、特別な知識や技術はないが、お客の心をつかむことにたけた機転のきく人物。

解説

まず杉野久実子の人物設定から確認しましょう。

・食物アレルギーをもつ小学生・太郎の母親
・地域特産館で働いている
――今は好調だが、業績が落ちればつぶれる可能性がある

久実子はもとは役場の職員で、地域特産館への転職の際は、知人である詩子を驚かせています。それは、久実子の決断が早かった（「あっさり」）ことに加えて、地域特産館がつぶれてしまう危険性をはらんだ職場だということがあります。第二段落までを読んだ段階で、久実子の行動が思い切ったものであることをおさえておきましょう。

問一　まず、転職についての**会話文**から、久実子の人物像が読み取れる部分をチェックします。

（著作権の都合により、問題文を掲載しておりません）

久実子の心の内に、〈わが子を守りたい〉〈誰よりも自分が適任だ〉という気持ちがあったことが読み取れますね。

続いて、久実子の仕事ぶり（＝**行動**）を描写した部分から、彼女の人物像が読み取れる部分をチェックしましょう。

（著作権の都合により、問題文を掲載しておりません）

「地域特産館を存続させるためなら何だってやるといった感じ」などから、**精力的**（＝疲れを見せず、積極的に取り組むさま）に仕事に取り組む様子が読み取れますね。

問二　**問一**で線を引いた部分を頭に入れて、選択肢を検討しましょう。

ア転職の理由に「自分の子を守りたい」という気持ちがあったことを思い出しましょう。久実子は「太郎のために」地域特産館を維持したいと考えているのですから、「自分の家族を犠牲にしても」とは思わないはずです。

イ転職をしたからといって、必ずしも「一つの仕事を続ける根気がない人物」とはいえませんね。前半の「好奇心があり……」といった部分も文中に明確な根拠がありません。

ウ久実子の発言から「わが子を思う気持ちが強い」といえますね。また、発言と仕事ぶりの描写から「自分がやるべき仕事と思ったら……精力的に行動する」「前向きな」も適切です。

エ「特別な知識や技術はない」「お客の心をつかむことにたけた」、どちらも、そのようなことが読み取れる描写は文中にありません。

解答

問一　**（「解説」に示してあります。）**

問二　**ウ**

確認問題

次の文章を読み、あとの問に答えなさい。

（著作権の都合により、問題文を掲載しておりません）

（著作権の都合により、問題文を掲載しておりません）

問 問題文から読み取れる「少年」の性格として最も適切なものを選びなさい。

ア 世慣れしていて油断ならない性格。

イ 幼稚で人が良い性格。

ウ 欲が深く慎重な性格。

エ ずる賢くて敏捷（びんしょう）な性格。

解説

「少年」は、鉄屑を盗もうとしているところを信雄に見つかっても、逃げたり信雄を脅かしたりせず、「にっと笑って」応対するしたたかさを持っています。また、鉄屑を盗んだらだめだと言われて「盗れへんわい」と答えているのに、信雄に「それでも安心できない」と思わせるようなところがあります。「少年」についてのこれらの描写に合うのは**ア**です。**イ**はまったく読み取れませんし、**ウ**「慎重」**エ**「敏捷」も不適切です。問題文からは読み取れない表現ですね。

解答

ア

「要点」で学習した内容をふまえて、問題を解いていきましょう。**今回は設問の最後に「クリティカル・シンキング」の課題があります。**お楽しみに！

読解演習

次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

（著作権の都合により、問題文を掲載しておりません）

（著作権の都合により、問題文を掲載しておりません）

30分

問一　問題文に描かれている「かれ」の早起きについて、次の(i)(ii)に答えなさい。

(i)　他と比較することで、「かれ」の早起きを強調している一文を探し、最初の五字を抜き出して書きなさい。

(ii)　「かれ」の早起きの目的を次のようにまとめるとき、文の内容が正しくなるように、空欄ａｂにあてはまるものを、あとの指示にしたがって書きなさい。

> 人々が［ａ］ような時間帯に、［ｂ］を練習場所にして、だれにもじゃまされずに自転車に乗ること。
>
> ・空欄ａには、五～十字で適する内容を書くこと。
> ・空欄ｂには、七字であてはまる語句を、文中から抜き出して書くこと。

ａ

ｂ

問二　傍線(1)「口をつぐむことになる」の理由を次のようにまとめるとき、空欄に適する内容を十字以内で書きなさい。

> 今の段階で、新しい自転車を［　　］はないから。

問三　傍線(2)「早起きは三文の得」について、次の(i)(ii)に答えなさい。

(i)　「両親」の言う「得」は、「かれ」と「両親」それぞれにとってどのようなことですか。具体的に書きなさい。

かれ

両親

(ii) ここでのことわざと対照的な意味のものを次の中から一つ選び、記号を書きなさい。

ア 習うより慣れよ　イ ちりも積もれば山となる
ウ 果報は寝て待て　エ 損して得取れ

問四 傍線(3)とありますが、「かれ」は父親が口にした「早起きは三文の得」ということわざを、どのように受けとってとなえているのですか。「と受けとってとなえている。」に続くように、十五字以上、二十字以内で書きなさい。

と受けとってとなえている。

問五 問題文全体を通した「かれ」の描かれ方として適切なものを次の中から二つ選び、記号を書きなさい。

ア 目の前のことに集中する
イ 他人との協調を心がける
ウ 無欲であっさりしている
エ 大人の顔色をうかがう
オ 神経がこまやかである
カ 体裁を取り繕わない

正解のない問 クリティカル・シンキングにトライ!

※クリティカル・シンキング（critical thinking）とは?

与えられた情報をただ吸収するのではなく、さまざまな観点から検討し、物事を多角的に考察することをいいます。正解が一つに決まらない問に取り組み、「考える力」を鍛えましょう。

「読解演習」の文章について、次の《課題》に取り組みましょう。

《課題》この文章の主人公は、自転車に乗れるようになるため自ら練習に取り組んでいます。あなた自身について、何かができるようになるために、自分から努力した経験を一つあげなさい。また、努力しようと思ったきっかけや理由もあわせて書きなさい。全体を二～三文程度にまとめること。

必見

今回のポイントや先輩たちの回答を「Z会Mypage」の「みんなの答案」に掲載しています。参考にしてください。

次のページで「解答解説」を確認しましょう。

解答解説

解答

問一　(i)　新聞配達人

(ii)　a　まだ眠っている（7字）

b　人気のない路地

問二　買い与えるゆとり（8字）

問三　(i)　かれ＝いろいろなものを手に入れられること。

両親＝必要となる時までは文具等を買い与えずにすむこと。

(ii)　ウ

問四　意味はわからないながら幸運を招く言葉（と受けとってとなえている）（18字）

問五　ア・カ

解説

問一　(i)「他と比較することで」という設問の条件に着目しましょう。「かれ」の早起きの様子について書かれているのは、問題文の前半部分（33行目の空行より前の部分）です。この部分を注意して読んでいくと、12行目に「……**よりも**」という比較を表す言葉が見つかります。「新聞配達人」や「牛乳配達人」といえば、早起きの代表格のような存在です。そんな人たちよりも「かれ」は早く起きて、自転車の練習に励(はげ)んでいるというのですね。

(ii)aについて。「かれ」より早起きなのは「養鶏場の鶏たちぐらい」なのですから、「かれ」は**だれよりも早く起きている**わけです。つまり、「人々が**まだ眠っている**ような時間帯」に自転車の練習をしているということになります。bについて。こちらは自転車乗りの「**練習場所**」が書かれているところを探します。14行目に「**人気のない路地**で」とあるのが見つかりますね。

問二　「口をつぐむ」とは、口を閉じる、すなわち〈黙(だま)ってしまう〉ということです。

両親は、「かれ」に早朝の自転車練習をやめるようにいう
↓
「だったらあんちゃんみたいに、**ぼくにも最初から新しい自転車買ってくれよ**」
↓
両親は黙ってしまう〈＝「かれ」に言葉を返すことができない〉

「かれ」が乗っているのは、「**父親が、仕事仲間からただで譲り受けてきた、かなり年代物の自転車**」です。両親が「かれ」に対して強く出られないのは、「**新しい自転車**」**を買い与える余裕がなく、人から譲り受けたもので我慢させているため**だと考えられます。「買い与えるゆとり」「買ってやるお金」などと解答できればよいでしょう。

問三 (i)「早起きは三文の得（徳）」は〈早起きをするとよいことがあるものだ〉の意のことわざです。傍線(2)の直前に「これが」とありますので、まずその指示内容をたどっていきましょう。

「筆は小学校に上がるまで、万年筆は中学校まで」、買い与えずにすみ、「安上がりだ」というのですから、両親にとっては、**必要となる時までは文具等を買い与えずにすむこと**が「得」だということがわかります。

では、「かれ」にとってはどのようなことが「得」なのでしょうか。これについてははっきりと書かれてはいませんが、36行目から始まる一文から、「かれ」が**さまざまなものを手に入れたこと**が読み取れます。よって、「かれ」については「いろいろなものを手に入れられること」などとまとめましょう。

○つけのポイント

〈「かれ」〉

❶ **いろいろなものを手に入れられる** ❷ こと。

❶「いろいろなものが手に入る」という内容が書けているか。

❷ **文末は「こと」などの〈体言文末〉＋「。」とする。**

【こんな解答は△】

△筆や万年筆を買わなくてすむこと。

＊これは両親にとって得なことです。「かれ」がさまざまなものを手に入れていることをおさえましょう。

〈「両親」〉

❶ **必要となる時までは文具等を買い与えずにすむ** ❷ こと。

❶「当分は文具を買わなくてよい」という内容が書けているか。

❷ **文末は「こと」などの〈体言文末〉＋「。」とする。**

【こんな解答は△】

△子どもが安上がりなこと。

＊どのような点で「安上がり」なのか、具体的に説明しましょう。

(ii)選択肢のことわざの意味を確認しましょう。

ア「習うより慣れよ」…人や本から教わるよりも、自分自身で練習や経験を重ねた方が身につく。

イ「ちりも積もれば山となる」…ちりのように小さなものでも、積もり重なれば大きなものになる。

ウ「果報は寝て待て」…幸福の訪れは人の力ではどうしようもないので、気長に機会を待つしかない。

エ「損して得取れ」…一時的には損をしても、最終的には大きな利益を得るようにすべきだ。

ウは「**気長に機会を待つ**」ということで、「早起きする（自分から行動する）」と対照的な内容を表すのでこれが正解となります。

問四　傍線部のすぐ前に指示語がありますので、前の内容を確認しましょう。

問題文のここを見よう！

（著作権の都合により、問題文を掲載しておりません）

「かれ」は「早起きは三文の得」の意味を知りませんが、そういって笑いあう両親を見て「得意」になっています。このときから「呪文のように」となえるようになったというのですね。以上のことから「はやおきはさんもんのとく」は、「かれ」にさまざまな拾い物をもたらし、ときには両親を笑顔にすることもできる言葉として受けとられたと考えることができます。

解答は、〈意味はわからない〉ということと、〈幸運をもたらす〉ということをおさえてまとめましょう。

○つけのポイント

❶「意味はわからない」という内容が書けているか。

❶意味はわからないながら❷幸運を招く言葉（と受けとってとなえている）

❷「よいことをもたらす言葉」という内容が書けているか。

※❷の説明がなければこの問は不可。

※文末は「と受けとって……」に自然につながる形とする。

【こんな解答は△】

△何かいいものが拾えるかもしれない言葉（18字）

＊❷の内容はおさえられています。〈意味はわからない〉という点を説明しましょう。

問五　各選択肢と、文中の「かれ」の言動の描写を照らし合わせて考えましょう。

「かれ」は、**だれよりも早く起き、熱心に自転車の練習をしています**。ここから「かれ」の**ア**「目の前のことに集中する」性格が見えてきます。また乗っているのは、父親が仕事仲間から譲り受けてきた、**かなり古い自転車**です。タイヤはすり減ってツルツル、父親に直してもらうまでパンクしていてぺっちゃんこでしたが、**おかまいなしで乗り回していますね**。よって、**カ**「体裁を取り繕わない」も正解です。

他の選択肢も見ておきましょう。朝からすごい音をたてて自転車に乗る「かれ」に対して、早起きの老人が皮肉を言っても、母親が叱っても気にしていないところから、**イエオ**があてはまらないとわかります。さらに「あんちゃんみたいに……新しい自転車買ってくれよ」という発言や、「落とし物があったら、見逃さない」という記述は、**ウ**「無欲であっさりしている」と矛盾していますから、これも不適切です。

5

応用学習 小説：人物像

知識トレーニング

30分

Z会が厳選した頻出の漢字や言葉を学習していきましょう。

漢字①

次の中学新出漢字について、用例（例）を三回ずつ練習しましょう。

漢字	音	訓	例
偉	イ	えらい	偉い
吉	キチ　キツ		大吉
砕	サイ	くだく　くだける	砕く
冗	ジョウ		冗長
斉	セイ		一斉
遭	ソウ	あう	遭難
跳	チョウ	はねる　とぶ	跳躍
尾	ビ	お	首尾
敏	ビン		敏感
眠	ミン	ねむる　ねむい	眠い

新出漢字トレーニング1

次の傍線部のカタカナを漢字に直しなさい。送り仮名の必要なものは、送り仮名の部分をひらがなで書きなさい。

(1) イッセイに立ち上がる。
(2) 登山中にソウナンする。
(3) ビンカンに反応する。
(4) おみくじでダイキチを引く。
(5) 土のかたまりを細かくクダク。
(6) 高くチョウヤクする。
(7) シュビよく物事を進める。
(8) 将来はエライ人になりたい。
(9) この文章はややジョウチョウである。
(10) 夜遅くまで起きていたのでネムイ。

(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10)

解答解説

解答

(1) 一斉　(2) 遭難　(3) 敏感
(4) 大吉　(5) 砕く　(6) 跳躍
(7) 首尾　(8) 偉い　(9) 冗長
(10) 眠い

解説

(1) 「斉」の音読みは、「セイ」で、他に「斉唱」などと使います。

(2) 「遭難」は書き取りでよく出題される熟語です。他に「遭遇」などの熟語も覚えておきましょう。

(3) 「敏」の音読みは「ビン」で、他に「過敏」「鋭敏」などと使います。「敏感」の対義語は「鈍感（どんかん）」です。

(4) 「吉」の音読みは「キチ」「キツ」で、「吉日」「吉報」などの熟語を作ります。一画目のほうが三画目よりも長くなるので、字形に注意して書きましょう。

(5) 「砕」の音読みは「サイ」で、「粉砕」「玉砕」などと使います。

(6) 「跳」は訓読みで「と-ぶ」と読み、「飛ぶ」が〈空中を移動する〉意味を表すのに対し、「跳ぶ」は〈足を使ってとびあがる・はねる〉意味を表します。

(7) 「首尾」は〈物事の始めから終わりまで〉の意で、「首尾よく」は〈都合よく・うまい具合に〉という意味で使われます。

(8) 「偉」の訓読みは「えら-い」で、音読みは「イ」です。「偉大」「偉人」「偉業」などと使います。右側の字形に注意して書きましょう。

(9) 「冗」の音読みは「ジョウ」で、「冗長」は〈文章・話などがくどくどと長いこと〉を表します。

(10) 「眠」の訓読みは「ねむ-る」「ねむ-い」で、音読みは「ミン」です。目を閉じて眠るので、部首は「目（め・めへん）」です。

言葉

言葉トレーニング

【今月のテーマ】動物・植物に関係することわざ／似た意味・反対の意味をもつことわざ

問一 次のことわざの空欄にあてはまる言葉を書きなさい。

(1) □に小判
(2) 一寸の□にも五分の魂
(3) □の威を借るきつね
(4) 寄らば□の陰
(5) □の川流れ

(1) □　(2) □　(3) □　(4) □　(5) □

問二 次の(1)～(3)のことわざと似た意味のことわざを、(4)・(5)のことわざと反対の意味のことわざを、あとのア～クの中からそれぞれ選び、記号で答えなさい（同一記号の反復使用不可）。

(1) 急いては事を仕損じる
(2) 光陰矢のごとし
(3) 月とすっぽん
(4) 好きこそ物の上手なれ
(5) 立つ鳥跡を濁さず

ア あとは野となれ山となれ
イ ちょうちんに釣り鐘
ウ 馬の耳に念仏
エ 歳月人を待たず
オ 矢も盾もたまらず
カ 急がば回れ
キ 下手の横好き
ク 鳥無き里のこうもり

(1) □　(2) □　(3) □　(4) □　(5) □

解答解説

解答

問一 (1) 猫 (2) 虫 (3) 虎 (4) 大樹 (5) 河童（かっぱ）

問二 (1) カ (2) エ (3) イ (4) キ (5) ア

解説

問一 どれもよく出題されることわざです。意味のわからないものがあった場合は、辞書で調べて確実に覚えておきましょう。

ピックアップ

「猫に小判」

「猫に小判」は、〈価値のわからない人にどんなに貴重なものを与えてもむだであること〉を意味します。上方版（かみがたばん）「いろはがるた」の一つで、猫には小判の値打ちがわからないことから言ったものです。似た意味を表すことわざに「豚に真珠」「馬の耳に念仏」「犬に論語」などがあります。また、「猫」を用いた成句は、この他にも「猫の目」「猫の額」などいろいろありますので、調べてみましょう。

問二 似た意味・反対の意味でどんなものがあるかを覚えておくことは、語彙（ごい）を増やすうえで大切なことです。入試で聞かれることもよくありますので、意識してチェックするようにしましょう。

ピックアップ

「月とすっぽん」

すっぽんは甲羅が丸いので、形が丸い点で月と同じですが、「美しい月」と「泥の中に住むすっぽん」とではその差が比較にならないほど大きいことを言います。似た意味の「ちょうちんに釣り鐘」は、両者の形が似ているものの重さが比べ物にならず、つりあいがとれないことを表します。

ちょっと 息抜き

漢字クイズに挑戦！

次の傍線部と同じ漢字を用いるものを、あとのア～エからそれぞれ一つずつ選び、記号を書きなさい。

(1) 思サクにふける。

ア サク文の宿題を仕上げる。
イ 不要な箇所をサク除する。
ウ どうしたらよいか、暗中模サクである。
エ サク日、家に帰ってきた。

(2) 六十歳をジ順という。

ア ジ間に遅れないようにする。
イ ジ目を広める。
ウ ジ書を引いて調べる。
エ ジ石で砂鉄を集める。

知っ得！ この漢字

ここでは、中学では習わないけれど、知っていたり書けたりするとちょっとかっこいい漢字を取り上げます。

【今月のテーマ】「もんがまえ」

次の漢字はなんと読むでしょうか。

(3) 門

(4) 閃

く

+ワンポイント

「門」は〈門を内側から動かないように閉じておくための横木〉です。

解答

(1) ウ (2) イ (3) かんぬき (4) ひらめ・く

漢字②

次の中学新出漢字について、用例（例）を三回ずつ練習しましょう。

為	威	俊	焦	惜
音 イ	音 イ	音 シュン	音 ショウ 訓 こげる こがす こがれる あせる	音 セキ 訓 おしい おしむ
例 行為	例 威圧的	例 俊敏	例 焦る	例 惜しい

濁	怖	憤	噴	揚
音 ダク 訓 にごる にごす	音 フ 訓 こわい	音 フン 訓 いきどおる	音 フン 訓 ふく	音 ヨウ 訓 あげる あがる
例 濁る	例 怖い	例 憤る	例 噴水	例 抑揚

新出漢字トレーニング2

次の傍線部のカタカナを漢字に直しなさい。送り仮名の必要なものは、送り仮名の部分をひらがなで書きなさい。

(1) 軽率なコウイを慎(つつし)む。
(2) シュンビンな動き。
(3) イアツテキな態度。
(4) アセッテもしかたがない。
(5) ここでやめてしまうのはオシイ。
(6) 私は高いところがコワイ。
(7) ヨクヨウをつけて読む。
(8) あまりのことにイキドオル。
(9) 川の水がニゴル。
(10) 公園のフンスイを眺める。

(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10)

解答解説

解答

(1) 行為　(2) 俊敏　(3) 威圧的
(4) 焦って　(5) 惜しい　(6) 怖い（恐い）
(7) 抑揚　(8) 憤る　(9) 濁る
(10) 噴水

解説

(1) 「為」は「イ」と読み、他に「作為」「為政者」などの熟語を作ります。字形に注意して一画一画丁寧に書きましょう。総画数は九画です。

(2) 「俊」には〈すぐれている〉といった意味があり、「俊敏」は〈頭の働きが鋭く、判断や行動がすばやいこと〉を言います。なお、「敏」は「**新出漢字トレーニング1**」で既に学習した漢字でしたが、正確に書けたでしょうか。

(3) 「威」は「イ」と読み、他に「権威」「威厳」などと使います。左下の部分は「一」＋「女」となっています。書き取りでよく問われる漢字ですので、しっかり覚えておきましょう。

(4) 「焦」は音読みでは「ショウ」と読み、「焦心（＝気をもむ・あせる）」などの熟語を作ります。訓読みとしては、「あせ-る」の他に、「こ-げる」「こ-がす」「こ-がれる」があります。

(5) 「惜」の訓読みは「お-しい」「お-しむ」、音読みは「セキ」です。「セキ」と読む熟語としては、「惜敗」「惜別」などを覚えておくとよいでしょう。

(6) 「怖」は音読みでは「フ」と読み、「恐怖」などと使います。

(7) 「揚」の訓読みは「あ-げる」「あ-がる」、音読みは「ヨウ」で、他に「国旗掲揚」「意気揚揚」などと使います。

(8) 「憤」の訓読みは「いきどお-る」で、送り仮名を間違えやすいので注意しましょう。音読みは「フン」で、「義憤（＝正義に外れたことに対する憤り）」などの熟語を作ります。

(9) 「濁」の訓読みは「にご-る」「にご-す」、音読みは「ダク」で、「濁音」「濁流」などと使います。

(10) 「噴」は「ふ-く」という訓読みがあることからもわかるように、「口」が部首となる漢字です。「いきどお-る」という訓読みをもつ「憤」は「心」に関わる「りっしんべん」が部首となりますので、区別して覚えましょう。

M・E・M・O

7

小説：人物像

添削問題 1

30分

※ここからは『Z Study 解答用紙編』の国語「小説：人物像」1枚目にご記入ください。

一 次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。（50点）

（著作権の都合により、問題文を掲載しておりません）

（著作権の都合により、問題文を掲載しておりません）

問一　傍線(a)〜(d)のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直して書きなさい。（各2点）

問二　傍線(1)とありますが、ひろばあちゃんがこのように言ったのはなぜですか。五十字以内で説明しなさい。（8点）

問三　傍線(2)とありますが、このときの正子かあさんの気持ちを三十字以内で説明しなさい。（7点）

問四　傍線(3)とありますが、このときのひろばあちゃんの気持ちとして最も適切なものを次の中から選び、記号を書きなさい。（6点）

ア　娘に何も教えなかった洋太郎を恨めしく思う気持ち。
イ　のんびりした娘にあきれながらもほほえましく思う気持ち。
ウ　将来に対する考えがない娘のことをあやぶむ気持ち。
エ　話がかみ合わない娘に対していらいらする気持ち。

問五　傍線(4)とありますが、「こうなったら」の具体的な内容を示している箇所を、文中の傍線(4)よりもあとの部分から探し、十五字で抜き出して書きなさい。（6点）

問六　傍線(5)「にべもない」の意味として最も適切なものを次の中から選び、記号を書きなさい。（6点）

ア　落ち着きをうしなう
イ　深い悲しみにくれる
ウ　怒りをあらわにする
エ　取り合おうとしない

問七　ひろばあちゃんの人物像として適切なものを次の中から**三つ**選び、記号を書きなさい。（9点）

ア　働き者である　　**イ**　気が弱い
ウ　控(ひか)えめである　　**エ**　腰が重い
オ　プライドが高い　　**カ**　見識がある
キ　軽率である　　**ク**　面倒見(めんどうみ)がよい

会員番号

QR コードで個別管理しているため氏名の記入は不要です。

解答用紙

禁無断転載

Z-KAI

この答案の添削有効期限は　　です。

※解答は、濃く、はっきりとご記入ください。

1／2枚目
CLT2D1-S1D1

総得点 40／50

小説：人物像
添削問題 1

CLT2D1-S1C1

②▶　◀②

「田舎」

1 6／8 問一

(a) 田舎　(b) そうじ

(c) 宿題　(d) 指揮

2 6／8 問二

育ち盛りの男の子ふたりを育てる大きくらす。

のもの　のに　しい　時ふた　よい代　市場

ちを　ちゃ　んと　かな

（注）ひろばあちゃんの橋本の家と比較するため、どこの市場かを明示するとよい解答になります。

「思わしくなかった」とは〈十分な食料が手に入りそうになかった〉ということととらえ、具体的に説明しましょう。

-2

①▶　◀①

国語

■□　要素ごとの出来をチェック　□■

①「近所の市場では」という〈ひろばあちゃんが「検分」に出かけた場所〉をおさえられたか。→○

②「育ち盛りの男の子ふたりを育てる」という〈ひろばあちゃんたちの当面の役割〉をおさえられたか。→○

③「十分な食料が調達できそうにない」という〈「きわめて思わしくなかった」という検分結果〉をおさえられたか。→△

（注）③の要素をおさえていなければ、この問0点。

裏面につづく

▼解答が終わってから記入しましょう。

学年 1・2・3・卒／志望校 高校

解答時間 25 分

答案感想欄

正子かあさんの気持ちを答えるのが難しかった。

難しかった問題〔問三〕

添削者より

難しいと感じたところも、「困惑する気持ち」と正しく解答することができましたね。減点となった箇所については、朱筆や解説を読んで、理解を深めてください。次回も答案を楽しみに待っています。

添削者名 三島

---

3 問三 5/7

ひろばあちゃんの言っていることがわからず、困惑する気持ち。

「惑」

-1

「いのち」や「国際情勢」などの難しいことを、〈次々に〉言い出したことに驚く様子をおさえましょう。

■□ 要素ごとの出来をチェック □■

①「母親が」という〈正子かあさんが「目をまるくする」相手〉をおさえられたか。→○

②「次々と理解できないことを言う」という〈ひろばあちゃんの行為〉をおさえられたか。→△

③「驚く」などと〈正子かあさんが「目をまるくする」ときの気持ち〉をおさえられたか。→○

（注）②③のどちらかの要素をおさえていなければ、この問0点。

-1

---

4 問四 6/6

ウ

「国際情勢」を理解できない自分の娘を心配する、ひろばあちゃんの気持ちを正しく読み取ることができましたね。

---

5 問五 5/6

日本もまもなく、いくさを始める。

抜き出しなので句点は不要です。

-1

ひろばあちゃんが取り出してきた『日米戦はば』という本にも着目して、「えらいこと」の内容がとらえられましたね。

---

6 問六 6/6

エ

とめにかかっても、「やめるほうがからだにさしつかえる」と断るひろばあちゃんの様子に合うものが正しくとらえられましたね。

---

7 問七 6/9

ア

オ

ク

「先の見とおしをもっている『書斎派』」とあるように、知識をもとに自分の考えもしっかり持っているので、カ「見識がある」ことがわかります。